



平成 30 年 7 月 27 日  
内閣府（防災担当）

## 平成30年度 大規模地震時医療活動訓練について

### 1 訓練の趣旨

南海トラフの地震を想定し、南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成 29 年 6 月改定）等に基づく大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

### 2 訓練の概要（別紙参照）

実施日	平成 30 年 8 月 4 日（土）8 時 00 分～18 時 00 分
訓練想定	南海トラフ地震により、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県に甚大な被害発生を想定
参加機関	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT 事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、西日本高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社 北海道、岩手県、徳島県、香川県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県、関西広域連合、公益社団法人全日本トラック協会等
訓練場所	<域内搬送拠点臨時医療施設（SCU）等> 県立中央病院、県立三好病院、県立海部病院、徳島赤十字病院（徳島県）、高松空港、香川大学医学部附属病院、小豆島中央病院、県立中央病院、四国こどもとおとなの医療センター（香川県）、高知大学医学部（高知県）、大分スポーツ公園、新別府病院、県立病院、コスモス病院、豊後大野市民病院（大分県）、新田原基地、宮崎大学、九州保健福祉大学、県立日南病院（宮崎県）
	<域外搬送拠点臨時医療施設（SCU）> 千歳基地、花巻空港、熊本空港

### 3 取材について

- (1) 域内搬送拠点臨時医療施設（SCU）等では、高松空港、香川大学医学部附属病院、小豆島中央病院、県立中央病院、四国こどもとおとなの医療センター（香川県）、高知大学医学部（高知県）、大分スポーツ公園、新別府病院、県立病院、コスモス病院、豊後大野市民病院（大分県）、宮崎大学、九州保健福祉大学、県立日南病院（宮崎県）で、域外搬送拠点臨時医療施設（SCU）では、花巻空港、熊本空港でそれぞれ取材ができます。
- (2) 上記各拠点における取材については、原則として入場登録等が必要です。つきましては、その事前手続きをはじめ取材の詳細については、訓練参加道県担当課にお問合せください。また、取材については、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。

徳島県内の取材場所については、下記徳島県担当課に御確認ください

#### <問合せ先>

##### ○内閣府（防災担当）

災害緊急事態対処担当 参事官補佐 伊藤  
TEL 03-3502-6047(直通)

地方・訓練担当 参事官補佐 笠井  
TEL 03-3503-9394(直通)

##### ○訓練参加道県担当課

徳島県保健福祉部医療政策課広域医療室  
TEL 088-621-2186

香川県健康福祉部医務国保課医療政策グループ  
TEL 087-832-3319

高知県健康政策部医療政策課災害医療対策室  
TEL 088-823-9667

大分県福祉保健部医療政策課  
TEL 097-506-2659

宮崎県福祉保健部医療薬務課  
TEL 0985-26-7451

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課  
TEL 011-204-5250

岩手県保健福祉部医療政策室  
TEL 019-629-5416

熊本県健康福祉部健康局医療政策課  
TEL 096-333-2246

# 平成30年度大規模地震時医療活動訓練（広域医療搬送計画）

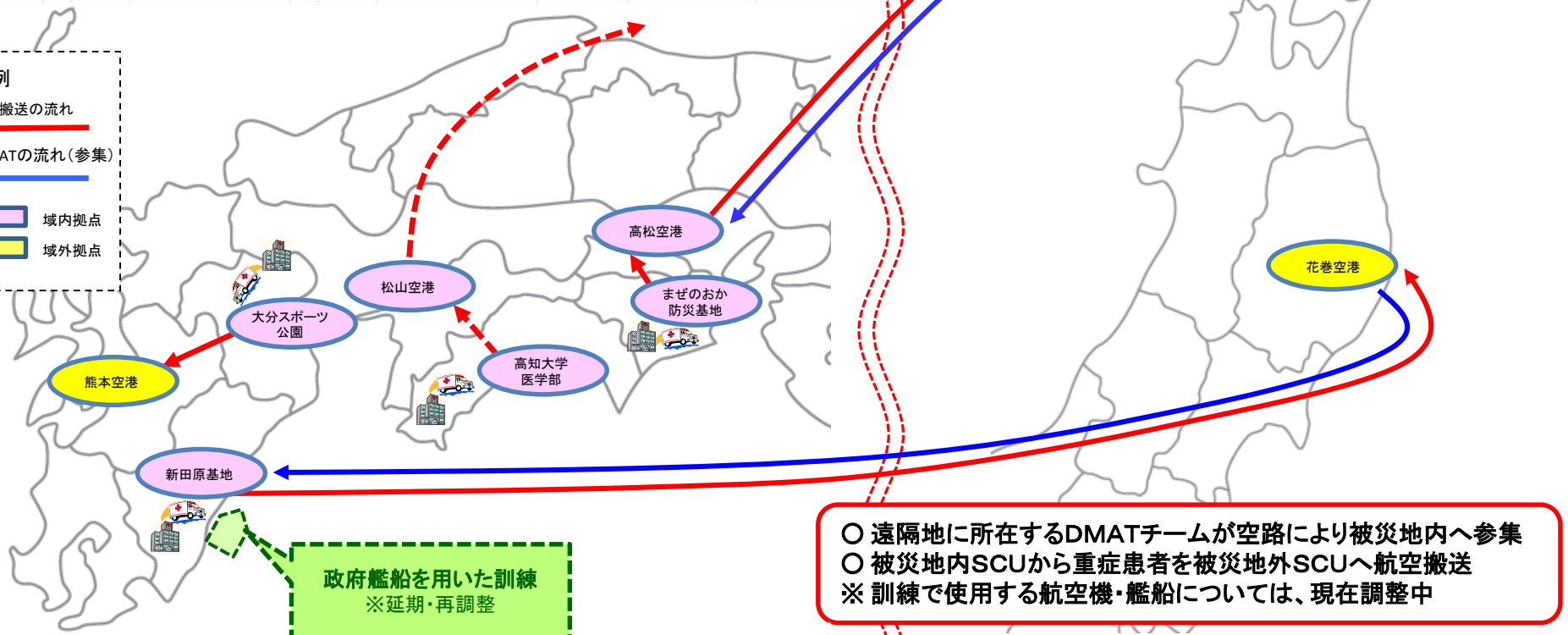
別紙

## 機体運用案および訓練計画

目的	発SCU	着SCU	使用機体	備考
DMAT参集 (空路)	① 北海道 千歳基地	⇒ 香川県 高松空港	固定翼機 C-2	
	② 岩手県 花巻空港	⇒ 宮崎県 新田原基地	固定翼機 C-130	
広域医療搬送	③ 徳島県 まげのおか防災基地	⇒ 香川県 高松空港	回転翼機 EC-225	
	④ 香川県 高松空港	⇒ 北海道 千歳基地	固定翼機 C-2	①の機体を使用
	⑤ 高知県 高知大学医学部	⇒ 愛媛県 松山空港	回転翼機 CH-47	※仮想に変更
	⑥ 大分県 大分スポーツ公園	⇒ 熊本県 熊本空港	回転翼機 CH-47	
	⑦ 宮崎県 新田原基地	⇒ 岩手県 花巻空港	固定翼機 C-130	②の機体を使用
政府艦船を用いた訓練	⑧ 宮崎県 宮崎港	輸送艦—しもきた	※延期・再調整	

### 凡例

- 患者搬送の流れ (赤い矢印)
- DMATの流れ(参集) (青い矢印)
- 域内拠点 (紫の楕円)
- 域外拠点 (黄の楕円)



○ 遠隔地に所在するDMATチームが空路により被災地内へ参集  
 ○ 被災地内SCUから重症患者を被災地外SCUへ航空搬送  
 ※ 訓練で使用する航空機・艦船については、現在調整中